



林業普及現地情報
2020-36号(通算393号)
令和3年3月2日
沿岸広域振興局農林部
記述者 田島大

全国初！！ 郵便・宅配事業者と連携した山火事防止の啓発活動の実施について

1 はじめに

釜石地域では、平成29年5月、尾崎白浜・佐須地区において約413haを消失する大規模な林野火災が発生しました。

沿岸広域振興局農林部や関係機関で構成する釜石地区山火事防止対策推進協議会では、再び大きな山火事を発生させないよう、毎年、啓発活動を実施しています。

この度、趣旨に賛同いただいた日本郵便株式会社、ヤマト運輸株式会社、佐川急便株式会社の配達車両に「山火事注意」の掲示をいただくことになりましたので報告します。

我々が現場を訪れる際、どんな山間地であっても、度々、郵便・宅配事業者の配達車両とすれ違います。言い換えると、郵便・宅配事業者は、配達のために毎日くまなく地域を走行しており、郵便・宅配事業者に山火事防止の啓発活動に協力いただくことは、山火事発生危険の多い山間地において、大きな力になるものと考えています。

2 協力台数(総計46台)

- (1) 日本郵便株式会社
釜石郵便局 計16台
大槌郵便局 計4台
- (2) ヤマト運輸株式会社
釜石甲子センター、釜石東センター、大槌センター 計8台
- (3) 佐川急便株式会社
釜石営業所 計18台



3 出発式の開催

県の山火事防止運動月間(3～5月)の初日に当たる3月1日(月)、釜石郵便局において、出発式を開催しました。

日本郵便株式会社から、東北支社長、釜石郵便局長、綾織郵便局長、東北支社地方創生担当部長が出席し、東北支社長から、「365日の配達で、地域の皆様に注意喚起していきたい」と力強い挨拶がありました。

出発式では、東北支社長と沿岸広域振興局長が郵便車両にステッカーを貼付け、参加者が拍手で郵便車両の出発を見送りました。



4 終わりに

最近では、栃木県で大きな山火事が発生しましたが、山火事の発生原因は、野焼きやたき火、たばこの消し忘れなど、人為的なものが大半です。

山火事の発生を防ぐためには、まずは注意喚起の活動が大切であるとの認識に立ち、沿岸広域振興局では、郵便・宅配事業者の協力を得ながら、これからも啓発活動に取り組んでいきます。